

平成27年度 有老協サービス第三者評価結果

ホームID	ホーム名	法人名	評価日
2702	介護付有料老人ホーム あすみが丘グリーンヒルズ	(株)あすみが丘グリーンヒルズ	H27.12.23
有老協HPでの評価結果公表希望		有	
評価機関	特定非営利活動法人福祉経営ネットワーク		

評価結果

スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価
1.1.1	A	B	2.3.4	A	A	6.2.1	A	A
1.1.2	A	A	2.3.5	A	A	6.2.2	A	A
1.1.3	A	A	2.3.6	A	A	6.2.3	A	A
1.1.4	A	A	2.3.7	A	B	6.2.4	A	A
1.2.1	B	B	2.3.8	A	C	6.2.5	A	A
1.2.2	A	C	2.3.9	A	A	6.2.6	A	A
1.2.3	A	A	2.3.10	A	A	6.2.7	A	A
1.3.1	A	A	2.3.11	A	A	6.2.8	A	A
1.3.2	A	A	2.4.1	A	A	6.2.9	B	B
1.3.3	A	A	2.4.2	A	B	6.3.1	A	B
1.4.1	B	B	2.4.3	A	B	6.3.2	A	A
1.4.2	A	A	2.4.4	A	A	6.3.3	C	C
1.4.3	A	A	2.4.5	A	A	7.1.1	A	A
1.4.4	A	A	2.4.6	A	A	7.1.2	A	A
1.4.5	A	A	3.1.1	A	A	7.2.1	A	A
1.4.6	A	A	3.1.2	A	A	7.3.1	A	A
1.4.7	A	A	3.1.3	B	B	7.3.2	A	A
1.4.8	A	A	3.1.4	A	A	7.3.3	A	A
1.5.1	A	A	3.1.5	非	非	7.3.4	A	A
1.5.2	A	A	3.1.6	A	A	7.4.1	A	A
1.5.3	A	A	3.1.7	A	A	7.4.2	A	A
2.1.1	A	A	4.1.1	A	A	7.4.3	A	A
2.1.2	A	A	4.1.2	A	A	7.4.4	B	B
2.2.1	A	A	4.1.3	A	A	7.4.5	A	A
2.2.2	A	A	4.1.4	A	A	7.5.1	A	A
2.2.3	A	A	4.2.1	A	A	7.5.2	A	A
2.2.4	A	A	4.2.2	A	A	7.5.3	A	A
2.2.5	A	A	5.1.1	B	B	7.5.4	A	A
2.2.6	A	A	5.1.2	A	A	7.5.5	A	A
2.2.7	A	A	5.2.1	A	A	7.5.6	A	A
2.2.8	A	A	5.2.2	A	A	7.5.7	A	A
2.2.9	A	A	5.2.3	A	B	7.6.1	A	A
2.2.10	A	A	5.2.4	A	A	7.6.2	A	A
2.2.11	A	B	5.2.5	A	A	7.6.3	A	A
2.3.1	A	A	6.1.1	A	A			
2.3.2	B	B	6.1.2	A	A			
2.3.3	A	A	6.1.3	A	A			

評価機関の所見

1. 優れた取り組みと思われる点

スケール	所見
2-2-1	見学会を毎月1回定期的に実施し、ホーム前の通路から見えるよう掲示する等案内告知をしている。また、定期的見学会以外に、急な見学希望にも柔軟に対応している。例えば、30分後に見学したいという電話があった場合や、通りがかりに見学の依頼があった際にも要望に応じて対応しており、見学のあったことを記録して、次の見学会に備えている。
2-3-4	年1回の運営懇談会と年3回の入居者懇談会を開催し、直接意見や要望を把握している。意見や要望についての検討結果は次回の懇談会で報告し書面で開示している。また、食事に関しては、調理員が食堂で利用者から直接意向を聞いている。さらに、要望については2ヶ月に1回、業者と食事会議を開催し、メニューや食事の改善に反映している。
4-2-2	日々のレクリエーションは予定表を毎月作成し、毎日午前中に行う体操の他、脳トレ・輪投げ・カラオケなどを行っている。また、つくしの会（書道）やフラワーアレンジメントなどボランティアによる企画も取り入れ、毎日の生活に潤いや楽しみを提供している。さらに、行事の際には綿密な計画と、その時の実施結果や課題、反省点などを盛り込んだ報告書を作成し次回に反映できるよう取り組んでいる。
6-2-4	入居者の状態変化に際しては、サービス担当者会議の前に、暫定のケアプランを作成して状態に応じた支援に努めている。また、体験入居の際には、聞き取った情報をもとに暫定でケアプランを作成しており、プランに沿ったサービスを提供している。加えて、そのまま正式入居につながる場合には、日々の生活に慣れ落ち着いたところを見計らって本プランにつなげるなど、入居者の不安感の払拭に努めている。

2. さらに取り組むことで、より質の向上が可能と考えられる点

スケール	所見
1-2-2	資金の運用基準を定めた規程を制定していない。現状は、定期預金等安全性の高いものに運用しているため資金運用基準の必要性を感じていない。しかし、規程を定め、運用として安全性の高い預金等に限定する旨を規定するとともに、取締役会において年度の運用方針の決議を経るなど資金運用における決裁手順を定めることが必要と思われる。
2-3-8	施設の事業として、有料老人ホーム事業、介護保険指定事業、クリニック・デイケアへの不動産賃貸事業を行っている。会計区分については、有料老人ホーム、介護保険指定事業は区分されているものの、不動産賃貸事業については、営業外収入に計上し区分されていない。会計区分を新たに設け、賃料収入と賃貸部分に該当する減価償却費等費用を計上し、収支の状況がわかるようにすることが求められる。
6-3-1	職員の介護技術向上に向けた研修は入職時には行っているが、毎年定期的には実施されていない。ホームで策定された業務マニュアルにもとづき、実践を伴った介護技術研修計画の策定と実施が求められる。さらに、職員の職種や階級ごとに役割や専門性に応じた研修の機会を持つなど、職員の知識とやる気の向上に向けた取り組みに期待したい。
6-3-3	ホームでは5年前にサービス評価を受審しており、その結果を運営懇談会の資料に盛り込み、入居者および家族等に公表している。今後、3年に1回以上の定期的な受審を織り込んだ事業計画を策定するとともに、評価結果はホームページ等を活用し、入居者や家族等に加え、広く世間に公表することが望まれる。